

株式会社 大田花き

～暮らしに潤いを提供し、
豊かな社会文化を創造します～

“事業を通して暮らしに潤いを提供し、豊かな社会文化を創造します”

変化への対応：Just Solution

大田花きではこの企業理念をもとに、生産地から消費者の元まで、いち早く鮮度の良い花をお届けするために社員一同が、商品の取引において公正・効率を意識し日々の業務に取り組んでおります。



OTA花ステーション (イメージ写真)

最適なサプライチェーンを目指して

2015年4月大田グループでは、大田市場花き部の西側に新施設「OTA花ステーション」を着工いたしました。新施設においては、鮮度保持強化ならびに合理的物流を実現し、弊社におけるハブ機能をさらに強化していきます。生産者、買参人双方にとっての利便性向上につながる新たな価値を創出することにより、花き業界全体の活性化につなげていきたいと考えています。新施設全体の竣工は2016年12月を予定しています。
(上：イメージ写真)

新施設「OTA花ステーション」は約5,800㎡の敷地に、鉄骨造・地上3階建、延床面積約12,100㎡の施設として計画しています。2階と3階にはおよそ2,200㎡ずつの保冷庫を整備するとともに、花きを搬出入するプラットフォームなど計14本を新たに設置します。これにより、現状の取扱量の約1.4倍となる年間約1,000万ケース（最大値）の取り扱いが可能となります。

～大田花きのニューフェイス みどポロちゃん～

花き業界だけでなく、多くの人たちに花の良さを知って頂く為に、みどポロちゃんを通じて色々な花の特性、日持ちについて情報発信しております。



(みどポロちゃん)



販売日前日の販売担当



産地紹介



梶農園 マリーミー

セリ風景



アグリ・ベース
夏色アジサイ



太陽の花
ファッションマム

～ MPS-GPA 鮮度保持流通へ ～

2008年3月よりMPS-GPA認証を取得して8年目になります。鮮度保持流通にあたり温度管理や取り扱い方法を含めた鮮度・品質管理がプログラム内で認証取得の必須事項であったため、社内全体への啓蒙活動を行い抵抗なく意識の中に浸透させてきました。しかし、日々の業務において品質や鮮度に関する改善は十分ではありません。ここ数年で花の日持ちに関する意識が高まる中、今後もよりいっそうの鮮度保持流通を実現させるべく改善に取り組んでいきたいと思っております。